

永年にわたる功績を讃える

平成17年度 功労者表彰式

町の政治・経済・文化・社会などの各般にわたり町政振興への寄与、または多くの人々の模範と認められる行為があつた方々を表彰する、平成17年度功労者表彰式が11月3日、総合福祉センターで行われました。

表彰式は、出席者全員で町民憲章を朗読したあと、功労者の皆さんに池部町長から表彰状が授与され、受

賞者を代表して渡邊ヤヨエさん（幾寅）から謝辞が述べられました。

なお、今年度の表彰式において顕彰された方々は次のとおりです。（敬称略）

自治功労

自治の振興発展に尽くされた方

齋藤 正

久保田 末五郎

とりまでもお元気で

長寿を祝い感謝をこめて敬老会

町主催による敬老会が11月1日、総合福祉センターで開催されました。

式典では、町内各地区から集まった230名の参加者に、池部町長と新田町議会議長より長寿のお祝いと永年のご苦労に対する感謝の言葉が述べられ、参加者を代表して町老人クラブ連合会会長の小林實さんが謝

辞を述べられました。

祝宴では、町婦人団体連絡協議会やJAふらの南富

良野支所女性部、町赤十字奉仕団の方々が用意した赤飯や豚汁などの料理が振舞われ、参加者の皆さんは、幾寅保育所園児や協力団体の方々による踊りなどを見ながら、楽しく過ごされていました。

産業経済功労

産業経済の振興発展に尽くされた方

渡邊 ヤヨエ



プロ野球選手と町内の野球少年が交流

北海道日本ハムファイターズ「野球教室・植樹祭」

10月23日、北海道日本ハムファイターズの金子誠内野手、稲葉篤紀外野手らが来町し、町内から応募した41名の小中学生が参加して「野球教室」と「植樹祭」が行われました。

町営湖畔野球場で行われた「野球教室」では、町内の小中学生のほか、空知川を通じた水源交流を行っている滝川市の少年野球チームの小中学生も参加しました。両選手から、キャッチ

ボールの行い方や、内野手・外野手に分かれての守備練習で、基本的な動作について指導を受け、プロ選手を前に最初は緊張していた子ども達も、時間が立つにつれ動きも良くなり、「一つひとつのプレーを最後までしっかりやろう。」とアドバイスされると、元気にグラウンドを駆け回っていました。

講評の中で稲葉選手は、「今を大事にして一生懸命



練習することが大切です。将来の中から、プロの選手が出ることを願っています。」と話していました。野球教室終了後、かなや湖畔の「アオダモの森」で「植樹祭」が行われ、選手と子ども達がスコップを手に、バットの原木となるアオダモのほか、アカエゾマツの苗木などを植えました。あいさつした金子選手は、「植樹を機にバットなどの道具に対する愛着を持つてほしい。」と話していました。